



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1034 2016年7月19日

ARIBからのお知らせ

**第143回電波利用懇話会（電波環境協議会共催）開催のお知らせ
「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」**

今回の電波利用懇話会は、電波産業会が事務局を務める電波環境協議会との共催により開催いたします。

電波環境協議会では、平成26年8月に「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」を公表いたしました。その結果、携帯電話を全面利用可の病院は、平成26年に5.0%だったのが、平成27年の調査では26.4%に増加し、医療機関の利用者の利便性向上に貢献いたしました。

昨年度は、9月に「医療機関における電波利用推進部会」を設置し、学識研究者を始めとして幅広い関係者により、医療機関において電波の適正な利用を確保するための取組等に関する検討を行いました。その検討結果は、「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」として取りまとめ、平成28年4月4日に公表いたしました。本手引きの内容は、主に医用テレメータ、無線LAN、携帯電話を医療機関で利用した際のトラブル事例を紹介し、医療機関の中で、如何に電波環境を管理するかについて、を手引きとしてまとめたものです。なお、この功績は高く評価され、平成28年6月1日に「電波の日」総務大臣表彰を受賞しました。

今回の電波利用懇話会では、電波環境協議会「医療機関における電波利用推進部会」座長の加納隆教授（埼玉医科大学）を講師とし、推進部会がまとめた手引書の内容を中心に解説いたします。

電波産業会並びに電波環境協議会の会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時：平成28年8月25日（木）14時から15時30分まで
- 2 場 所：一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
- 3 題 名：「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」
- 4 講 師：電波環境協議会「医療機関における電波利用推進部会」座長 加納 隆様
(埼玉医科大学 教授)
- 5 対 象：ARIB正会員、賛助会員及び電波環境協議会会員
- 6 参 加 者：90名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 7 申 込 先：当会ホームページ（<http://www.arib.or.jp/>）の「講演会等開催案内」まで
- 8 参 加 費：無料
- 9 問 合 せ 先：企画国際部 電波利用懇話会事務局 辻道 まで

TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2016@arib.or.jp

日ボツワナ共同作業部会 第4回会合を開催

7月8日、総務省において、日ボツワナ共同作業部会 第4回会合が開催されました。ボツワナ共和国は、2013年にアフリカ地域において初めて日本方式の地上デジタル放送 (ISDB-T) を採用した国であり、それ以降、同国と日本の政府間において ISDB-T の導入に関する技術支援等を目的とした共同作業部会が年1回のペースで開催されています。今回の会合では、ボツワナ側より大統領府放送サービス部 (DBS) 及び在日本ボツワナ大使館が、日本側より総務省、国際協力機構 (JICA)、(一社) 放送サービス高度化推進協会 (A-PAB)、ARIB 等が参加し、両国の地上デジタル放送に関する情報交換、今後の協力に関する議論等が行われました。

ボツワナ側からは、昨年12月までに全国で地上デジタル放送を開始し、本年12月にはアナログ放送の停波を行う予定であること、民間放送の新規参入も認めていく方針であるが、同国の市場規模が小さいため同国向け受信機の製造を行うメーカーが限られていること、魅力あるコンテンツがまだ少ないこと等から受信機の普及ペースが遅いこと、デジタル移行に伴う近隣諸国との周波数調整に時間を要していること等が課題であるとの説明がありました。一方、日本側からは、受信機の普及支援やアナログ停波等に関する日本の経験等について説明を行いました。また、ISDB-T 採用国の情報交換の場である ISDB-T インターナショナルフォーラムにボツワナがこれまで出席できないこともあったことから、同フォーラムの活動状況についても紹介しました。これに対してボツワナ側からは、日本の情報提供に対する謝意が述べられるとともに、次回同フォーラムの招聘も考えたいとの発言がありました。

こうしたやり取りの後、ボツワナにおける円滑なアナログ停波の実施及びチャンネルプランの検討等に関して、今後とも日本が支援を継続する意向であることが表明されました。また、本年11月にボツワナが ITU 世界電気通信/ICT 指標シンポジウム (WTIS) を招聘予定であることから、これに合わせて同国で次回の共同作業部会を開催する方向で調整を行うこととなりました。



日ボツワナ共同作業部会の様子

台湾資通産業標準協会（TAICS）との MoU 締結について

7月12日（火）、当会は、TAICS（Taiwan Association of Information and Communication Standards）との協力に関する合意覚書（MoU：Memorandum of Understanding）を締結しました。両団体は、通信、放送、ITSの各分野において、標準化作業に向けて情報交換、相互の会合・イベントへの参加、寄稿等のドキュメント発行に向けた協力を進めていきます。

同日の締結式には、TAICSから曾 理事長以下16名、ARIBから松井専務理事以下11名が出席し、調印と共に互いの組織や取組みを紹介し、意見交換が行われました。



MoU 締結式の様子
松井専務理事(ARIB)と曾 理事長(TAICS)



打合せ・意見交換の様子

第 230 回業務委員会を開催

第 230 回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせいたします。

- 1 日時 2016 年 7 月 13 日（水） 午後 4 時 00 分から 5 時 30 分まで
- 2 場所 当会第 2 会議室
- 3 議事概要
 - (1) 第 100 回規格会議の結果について
 - (2) ARIB が事務局を務める任意団体の動向について
 - (3) 欧米における ITS 関連団体の年次大会の様様
 - (4) その他

今週の ARIB 内会合（7 月 19 日～7 月 22 日）

- 7 月 20 日（水）：デジタル放送システム開発部会 データ符号化方式作業班
7 月 21 日（木）：デジタル放送普及活動作業班会議（第 58 回会合）

今週の国際会合（7 月 19 日～7 月 22 日）

参加を予定している会合はありません。

編集後記

7 月 6 日に開催されました規格会議は、第 100 回という節目のものでした。これまで開催された 100 回の規格会議では、通信・放送に関するいろいろな標準規格・技術資料が策定・改定されてきましたが、時代の流れとともに廃止が決議されたものもあります。規格会議に携わった人は、かなりの人数になると思います。

これからもよろしく願いいたします。

（編集子：Oz）



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp